

5.28

ポストコロナ時代に目指すべき神戸の姿

小売商業部会 講演会

小売商業部会では、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏を講師に迎え、「コロナ禍の今後と神戸経済の針路」をテーマにオンライン講演会を開催した。

藻谷氏は、新型コロナをめぐる情報が事実か否かを判断するにあたり、事実無視の“理論”や空気に影響されず、①絶対数を自分で調べる、②証明ではなく反証を確認することが重要だと述べ、様々な指標をもとに世界の情勢と比較した日本の現状を解説した。

ワクチンについては、変異株であっても大なり小なり世界で効果が実証されており、今秋以降、インバウンドも含めた交流は復活していくと持論を述べた。

また、ポストコロナ時代に栄える都市のポイントとして、①本店経済、②短期定住拠点、③本物の文化と景観の3点を強調。すべての芽がある神戸は、最大の魅力である“街に迫る山と海”という圧倒的なコントラストを生かし、外国人の短期定住拠点を目指すべきであり、海沿いの居住機能や賑わい空間の再整備が最重要であると提案した。

今回の講演内容については神戸商工会議所YouTube公式チャンネルで配信する予定。

藻谷浩介様プロフィール



株式会社日本総合研究所 主席研究員
株式会社日本政策投資銀行 特任顧問
NPO ComPlus地域経営支援ネットワーク理事長

1964年 山口県生まれ (56歳)
1988年 東京大学法学部卒業
日本開発銀行入行
1994年 米コロンビア大学経営大学院MBA取得
2012年 ㈱日本総合研究所主席研究員兼任

平成合併前3,200市町村のすべて、海外114ヶ国を自費で訪問し地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し、精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書に『デフレの正体』、『里山資本主義』(共にKADOKAWA)、『世界まちかど地政学Next』(文藝春秋)、『近著(共著)に、『進化する里山資本主義』(Japan Times)、『東京脱出論』(ブックマン社)。



中小企業振興部振興チーム

6.14

最新情報をワンストップで提供

令和3年度公的融資説明会



地元行政や信用保証協会、政府系金融機関などの中小企業向け公的融資説明会を会場とオンラインのハイブリッド形式で開催した。

各機関の担当者が、それぞれ新型コロナに関する融資制度を中心に最新の情報を紹介し、制度活用の留意点を解説した。昨年度に比べて、資金ニーズは一服感があると言われているが、個人消費の不振や営業制限などにより資金繰りに苦慮する事業者は多い。参加者からは「一度に様々な融資制度を知ることができて良かった」などの感想が寄せられた。

中小企業振興部振興チーム

6.17

ワクチンパスポートの迅速化を要請

河野内閣府特命担当大臣との懇談会



日本商工会議所と河野内閣府特命担当大臣との懇談会に家次会頭がオンライン出席し、新型コロナワクチンの接種加速に向けた取り組みについて意見交換を行った。

家次会頭は、欧米のようにビジネスを本格化させるためにも、ワクチン接種を証明するワクチンパスポートの発行が急務だと強調。デジタル化も含めた発行体制整備をお願いした。当商工会議所や日本商工会議所は、経済活動の正常化に向けて、引き続き、政府に安定したワクチン供給、接種体制を求めていく。

総務部企画広報チーム

6.15

常識にとらわれない近大流コミュニケーション戦略を学ぶ

女性会 令和3年度通常総会・特別講演会

女性会は通常総会を開催し、令和2年度事業報告案ならびに令和3年度事業計画案を承認した。

続いて行われた特別講演会では、近畿大学経営戦略本部長の世耕石弘氏を講師に迎え、「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」をテーマに講演を聞いた。

世耕氏は近畿日本鉄道(株)のホテル事業、海外派遣、広報担当を経て、平成19年に近畿大学に転職。従来の大学ではありえない広報戦略を打ち出し、入学志願者数8年連続日本一をはじめ、関西の旬な大学、改革力の高い大学などのラ

ンキングでトップを勝ち取っている。講演では、長年固定化されてきた「関関同立」「産近甲龍」の序列に挑むために取り組んできた日本初のネット出願への切り替えや、ファッション誌と連携した大学案内の刷新などの様々な改革事例を紹介。また、広報面では、「伝えた」ではなく「伝わった」にこだわり、「固定観念を、ぶっ壊す」「早慶近」など、個性的でインパクトのある広告を出し続けるコミュニケーション戦略の重要性を説いた。



会員事業部会員事業チーム

6.28

地元企業の販路開拓を支援

トキハ百貨店との個別商談会



大分県内で3店舗を展開するトキハ百貨店のバイヤーとオンライン商談会を開催した。

ジャケットや革小物などの紳士用品をはじめ、サステナブルやジェンダーレスに関連する商品を取扱う地元企業11社が参加し、紳士向け売場に展開可能な商材を求めるバイヤーとの間で有意義な商談が繰り広げられた。

バイヤーからは、「付加価値の高い商品を発掘することができた。取り扱いに向けて前向きに検討していきたい」との感想が寄せられた。

産業部産業・国際チーム

7.5

DXや事業再構築の支援を強化

神戸商工会議所 定例記者会見



定例の記者会見を開催し、正副会頭が足元の地域経済の状況やワクチンに対する考え方について所見を述べた。

冒頭、家次会頭は、感染拡大のリバウンドに注意しながら経済をまわしていくためにも、ワクチン接種により、集団免疫をいかに早期に獲得できるかが最大の焦点だと述べた。

また、四半期景況調査の結果をもとに、会員事業所が抱える事業継続上の課題を紹介。課題解決に向け資金繰りなどの支援とあわせDX推進や事業再構築の支援にも一層の力を入れると強調した。

総務部企画広報チーム